



「チームを支えた20m ～箱根駅伝のエピソードから～」

校長 藤田 賢一郎

いよいよ3年生は卒業、1・2年生は進級に向けた大切な時期を迎えます。

2021年第97回箱根駅伝は、アンカー10区で逆転した駒澤大学の劇的な優勝で幕を閉じました。毎年大きな感動を呼ぶ箱根駅伝。私も、数々の感動にふるえ、特に2016年第92回大会の青山学院大学の神野大地主将と伊藤弘毅寮長のエピソードに深い感銘を受けました。

箱根駅伝は過酷です。20チームという限られた大学しか出場することができず、出場できても走れるのは各チーム10人のみです。青山学院大学の伊藤選手(4年)も、関東インカレ5000mで2位に入賞する実力をもっていました。箱根駅伝の走者には4年間選ばれませんでした。一方、5区(高低差が激しい、箱根随一の苦しい区間)で、前年、区間記録をたたき出し、「山の神」と呼ばれた神野選手(4年)は、激しい練習と大会出場で、2度疲労骨折し、練習できない日々が続きました。その年の箱根駅伝も、原監督から出場を告げられたのは1か月前、けがの痛みがとれたのは10日前という状況でした。

この2人の決意と約束が胸を打ちます。4年間がんばってかなりの実績を収めながらも走者に選ばれなかった伊藤選手は、「僕は箱根を走れないので、何をしてもチームに貢献できるだろうか？生活面でサポートするしかない。一人も体調不良を出さない努力をしたい」と語り、選手が生活する寮の寮長と、箱根駅伝当日の給水係を志願しました。故障続きの神野選手は、主将として練習でみんなを引っ張っていけないことに苦しみながらも、夜は寮でけがのリハビリを兼ねてストレッチを始めました。この神野選手のストレッチにメンバーが次々と参加し、神野主将のもとチームがまとまっていったそうです。箱根駅伝直前に、2人は次のような約束をしました。伊藤「今までやってきたことを信じて最後の箱根を楽しんで走ってこい！(給水ポイントの)鳥居で待っている」、神野「笑顔で、鳥居で会おう！給水頼んだぞ！」。

そして迎えた箱根駅伝当日。(以下、実況放送から)「箱根駅伝のメンバーから外れた伊藤寮長が待っています。寮長の仕事は大変です。みんなの生活の管理や寮の備品の管理もあります。それらを心腐ることもなく伊藤寮長はコツコツ積み上げてきました。最後、苦楽を共にしてきた神野と20mでいいから伴走したい。大学生の最後を神野と並走しよう。一つだけ神野にお願いがある。僕が水を渡すときは、この一年苦しかったらう…ただ、大地！笑ってほしい。笑顔でゴールテープを切ってくれ」

テレビ映像では、骨折していた足をかばう走りをするあまり、腹筋がけいれんしてしまい、苦痛に顔をゆがめユニフォームをたくし上げて、お腹をさすりながら走り続ける神野選手が映されていました。約束は果たせないかと思えた給水ポイント。神野選手に水を渡す伊藤寮長、苦痛にゆがんでいた顔を笑顔に変えて水を受け取る神野選手。その間、一緒に走った20m。この2人のわずかな数秒の走りが、青山学院大学チームの強さを支えていたのではないのでしょうか。

自分が走者に選ばれなかった挫折を乗り越えて、チームに貢献するために何をすべきか考えて実行した伊藤寮長。度重なるけがを乗り越えて、スタッフを含めたチーム67人全員の名前を刻んだタスキをかけて、苦しい中、笑顔で走るという約束を果たした神野主将。個人の決意と二人の約束を果たしたこのエピソードに、私は教育に携わる一人として、感銘を受けるとともにチームのすばらしさを実感しました。

今年度も残りあとわずか、3月8日の卒業式までは1か月半となりました。3年生65名は、どんなタスキを後輩に受け渡してくれるのでしょうか。3年生が一層輝かせた板倉中伝統のタスキを、1・2年生が感謝と誇りに満ちた気持ちで引き継ぐ1か月半を、全教職員で応援します。

保護者・地域の皆様からも、有終の美を飾る3年生、タスキを引き継ぐ1・2年生に、ご支援をお願いいたします。

全校朝会で、石野養護教諭から、自分の人生を振り返り生徒の皆さんに伝えたいことについて講話がありました。

「天命について」

1月27日 全校朝会講話 石野 幸子

「天命（てんめい）」と読みます。人はその人にしかできない何かを天から与えられて命を授かるということです。

私にとっての天命は、養護教諭の仕事です。

私は看護師を目指し看護学校に入りました。そこで、出会ったのが白血病の女の子でした。競泳の池江璃花子さんが罹った病気と同じです。今では治る病気になりましたが、当時はまだ治りにくい病気で、その女の子は中学3年生の夏に短い生涯を閉じました。

美味しい給食を食べて、友だちと好きな人のことを話したり、勉強や部活をして将来はどんな職業に就こうかと悩んだりすることができなくなり、非常に無念だったと思います。

皆さんは、当たり前のように健康で楽しい学校生活を送っていますが、中には生きたくても生きられない人もいることを意識してもらいたいです。

そして、こうやって健康に過ごせるのは、家族や教職員の協力があったのこととってもらいたいです。お家の方や教職員が皆さんにいろいろと言うのは、皆さんへの愛情からです。

私は、その女の子との出会いから、子供の時から、自分の健康に興味関心を持ってもらえれば、病気になる人が少しでも減ると思い養護教諭になりました。健康で楽しい学校生活を送ってもらうためのサポートに生き甲斐を感じています。

皆さんは、これからいろんな人と出会い、たくさんの経験をしていきます。その中で、自分のことを好きになり、自分のよい面を見つけていく中で、是非自分にしかできない何かを見つけてもらいたいです。

そして、かけがえのない命を大切にしてもらいたいです。日本は世界でトップクラスで自殺率が高いです。新潟県は自殺率が全国でもトップクラスです。雪の多い所が自殺率が高い傾向にあります。今、自殺者が増えています。一年間で2万人もの方が亡くなっています。新型コロナ感染症の影響もあり、若者や女性の自殺が特に増えてきているそうです。自殺は残された人に深い悲しみを残します。

これから生きていく中で、時には死にたくなるほど辛い思いをすることも出てくると思います。そんな時は、皆さんの回りに助けてくれる人が必ずいます。友だち、家族、先生などに是非相談してください。また、友だちが辛そうにしている時は声をかけてあげてください。その一言で助かる命もあります。

折角、天から授かったかけがえのない命です。たくさんの方が命のバトンを渡してくれたおかげで、私たちはこの世の中に存在しています。皆さんにはそれぞれ親がいて、その親にも親がいて自分の命に関係しています。皆さんも次の世代に命のバトンを渡していくかもしれません。自分の命と回りの人の命も大切にしてください。

板倉中学校では、職員一丸となって生徒一人一人の気持ちに寄り添い、命を大切に教育にしっかり取り組んでいきます。保護者、地域のみなさまからも、見守っていただきますようお願いいたします。



生徒会役員の引継ぎが始まっています

1月8日(金)3学期始業式の日、令和3年度生徒会三役の任命式を行いました。元気よく返事をし、任命書を受け取る姿に、頼もしさを感じました。4名の新役員の抱負を紹介します。

生徒会長 古澤 花楓 さん



私が生徒会長になって一番に思ったのは、生徒一人一人が「学校が楽しい」と思える学校にしていきたいということです。そのために、生徒が明るく元気のよい挨拶ができるように、挨拶強化 week を実施したり、アンケートを行い生徒の意見を積極的に取り入れたりしたいと思います。生徒会を中心として、生徒が居心地よく、誰とでも仲の良い板倉中学校を創っていけるように、三役と専門委員長などと力を合わせてよりよくしていけるように頑張ります。

副会長 上原 琉天 さん



僕は副生徒会長になって、当たり前のことを当たり前でできる学校を創っていきたくです。そのために、全校に「こんなことは当たり前」を根付かせたいと思っています。そこで、例えば授業時の気持ちの良い挨拶キャンペーンを実施したり、さわやかな挨拶が学校中でできたりするような仕掛けを考えていきます。そして、来年度は全校のみんなが参加できて、絆を深められるような活動を多く実施していきたいと思っています。生徒会長をサポートしながら、板倉中学校をもっと良くしていけるように頑張ります。

副会長 小林 心春 さん



私の目指す板倉中は、笑顔溢れる学校です。それを実現させるためにまず、意見箱やアンケートで積極的に意見を集めます。そこで出た生徒一人一人の意見を大切にしてそれを実行していきたいと思っています。また、生徒同士の交流を増やし、絆タイムの内容と回数を充実させていこうと思います。最後に、挨拶をもっと良くします。そのために、委員会ごとに挨拶をすることで自分から挨拶をしようという意識を高めていってほしいと思います。

応援団長 三浦 朋来 さん



僕が目指す学校は、生徒全員がどこにいても自分が自分らしくいられる学校です。例えば、朝会で生徒会長が校長先生に向けて挨拶の号令を行っていますが、その挨拶もせっかく生徒会長が大きな声を出しても、そのあとの全校の声が小さいと残念な感じがします。将来のことを考えると、自分の殻を破って、みんなでいい挨拶を！と考え方を変えてみる方がきっといいと思います。挨拶だけでなく、自分にできる些細な変容は沢山あると思います。そのきっかけに応援団長として僕はなりたいと思います。全校一人一人が意識することで集団が変わります。全校で協力して、より良い学校を一緒に築いていきましょう。

来年度の体育祭に向けて～トロフィーをいただきました～

妙高青年会議所から、体育祭のトロフィーの贈呈がありました。「来年度の体育祭は、このトロフィーを目指して頑張りましょう！」と、新生徒会副会長 上原琉天さんが、全校生徒に語りかけました。

令和3年度に向けての取組が、始まっています。



新 年 の 抱 負

1年 鈴木 叶映 さん

私が3学期頑張りたいことは3つあります。

1つ目は、1学期と2学期にやり残したことをすることです。その中でも、勉強の面でやり残したことがたくさんありました。自主勉強を毎日しようと思っけていても、結局1週間に1~2回になってしまったりしてしまいました。なので、3学期はやると決めたらその日のうちに必ずすることを目標にして頑張りたいです。

2つ目はテストです。前回のテストは、第1回目のテストよりも大幅に点数が下がり、とても悔しい思いをしました。課題も、提出日ギリギリで焦ることがありました。それを生かして、次からは課題は余裕をもって終わらせて、自分の目標としている結果にたどり着きたいです。

3つめは部活動です。先輩が一生懸命練習をしているのを見て、私も先輩のようになりたいと思うようになりました。限られた部活の時間で上達できるように、練習をサボらずに精いっぱい頑張りたいです。

そして3学期は、1学期、2学期よりも短い分、より充実した学期にしたいと思っています。コロナで休みが増えて、例年よりも短い1年になってしまったので、それを感じないくらい楽しい3学期にしたいです。



2年 嶋田 陽太 さん

僕が3学期に頑張りたいことは3つあります。

1つ目は、学習についてです。3学期が始まって1カ月後には定期テストがあるので、いい結果が出せるように、だらだらとしないで集中して取り組みたいです。2学期の反省を生かして、直前ではなくそして、余裕をもってテスト勉強を進めていきたいです。3学期は期間も短い上に、テストも1回しかないので積極的に進めていきたいです。

2つ目は、部活動です。冬、野球部は室内で走ることが多いので、来年の春に体力がついているように、毎日頑張りたいです。また僕は部長という立場でもあるので、常にチーム全体を見ることができるよう努力していきます。

3つ目は、生徒会活動です。2学期は、級長会として僕は活動してきました。3学期は、3年生になる準備段階として、全校のリーダーとしての意識を今以上に強くもっていきたくと思います。この3学期にリーダーとして、自分がどんな立場で、どんな役割を果たすべきか自問自答しながら、努力を惜しまず確実に力をつけていきたいです。

3学期は、1年間の中で1番短い学期です。学習面、生活面、部活動で充実した日々だったと自分自身が感じられるように、一層の努力をしていきたいです。そして、3年生が私たち2年生に安心して任せられるという気持ちを少しでも持ってもらえるように、向上心をもって生活していこうと思います。



3年 坂口 愛実 さん

私の3学期の抱負は3つあります。

1つ目は受験です。私は3年のはじめ頃には志望校を決めていましたが、自分が受験生だという自覚がなかなか芽生えませんでした。家での勉強時間は以前までとほとんど変わっておらず、勉強を始めてもあまり集中できませんでした。しかし、家族や友達と進路について話すことが増えると、今のままではダメだと思うようになりました。自分の勉強方法を見直すなどして、今は受験への意識が高められていると思います。3月の入試に向けて、これからも意識を高めていきたいです。

2つ目は、委員会活動の引き継ぎです。私は図書委員長として委員会活動を行ってきました。その中で、うまくいったことと反省点がいくつかありました。3学期は、それらを後輩にしっかり引き継ぐ期間にしたいです。来年の委員会活動が今年よりも更に良くなるように、責任をもって引き継いでいきたいと思っています。

3つ目は中学校生活の締めくくりです。あと少しして3年生は卒業となるので、3学期は中学校生活の振り返りをしたいです。そしてそれを、高校での過ごし方や目標を決めるのに生かしたいです。



力作がそろいました！ 校内書初め大会

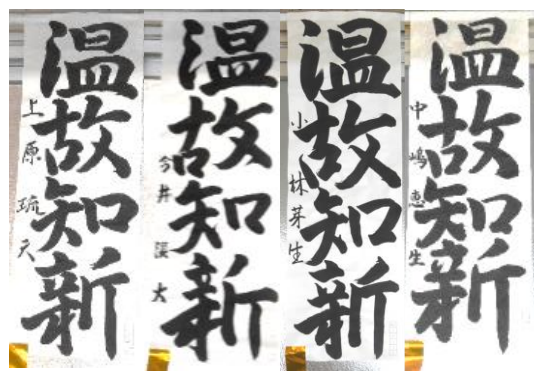
12月の国語の授業で練習をし、冬休みに磨きをかけてきた書写作品を、今年も校内に展示しました。国語の授業では、どのクラスでも、真剣に自分と向き合って筆を動かす姿が見られ、冬休み明けの作品を楽しみにしていました。提出された作品は予想以上に力作、秀作ぞろいで、悩みながら審査をしました。小学校時代から培われてきた、書写を楽しみ、真摯に作品と向き合う姿勢を、これからも持ち続けてほしいと願っています。

各学年の金賞の作品を紹介します。

<1年生>



<2年生>



<3年生>



ありがとう 私の母校④ ～豊原小学校～

3年 野崎 美碧さん

豊原小学校の自慢は、地域と一緒にやる行事が盛り上がることです。体育大会は、地区合同で行うので、地区対抗のチームジャンプや水入れ競争などは、みんなでもっと注目して見ていました。「豊原みんなの発表会」では、毎年、高野のしげさ踊りが披露されます。小学校のために地域の方が協力してくださって、とてもうれしいです。今年はコロナの影響であまり交流ができなかったようですが、また盛り上がってほしいと思います。

2月の予定

◎1/12(火)～19(火)の豪雪による臨時休業のため、日程が変更になった行事があります。

- | | |
|---|------------------------|
| 1日(月) 3年生第3回定期テスト | 16日(火) 1, 2年生第3回定期テスト① |
| 4日(木) 令和3年度専門委員会委員長委嘱式
・生徒会役員、委員長引継式 | 17日(水) 1, 2年生第3回定期テスト② |
| 5日(金) 新入生説明会 | 25日(木) 三年生を送る会 |
| 8日(月) 3年生標準学力検査 | 26日(金) 3年生クリーン活動 |

上越市立板倉中学校 2学期学校評価

昨年12月の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。1学期の回答結果との比較や、生徒と保護者の意識を回答結果の違いを比較していただきながら、結果の分析と今後の改善策等について、いくつか項目を抜粋してご説明いたします。

① 進路学習の確実な実施

各種たよりでの進路の情報提示、進路に対する意識の啓発が効果的に働くようにしたいと考えています。しかし、進路選択に向けて、生徒や保護者の皆さまの意識が「何点取ればどこの高校に行けるのか」という点に向くことが多いです。進路情報として求められているものと、実際に伝えたいこととのギャップをうめていくことが難しく、検討すべき課題だと考えています。

(肯定的評価の割合 %)

		1学期	2学期	
生徒	将来の目標を持っていますか	71.3	74.4	↑
生徒	保護者と自分の進路について話し合いますか	69.8	75.6	↑
生徒	自分の将来に向けて、自分でできることを考え、取り組んでいますか	79.2	84.4	↑
保護者	お子様は将来の目標を持っていると思いますか	51.4	47.8	
保護者	お子様と進路について話していますか	59.6	69.1	↑

② 家庭学習に関する指導

今年度は、「学力UP Week」の取組による生徒への働きかけを行い、生徒の意欲を引き出すのに効果があったと思われます。今後工夫を重ね、マンネリ化しないように取り組んでいきます。

		1学期	2学期	
生徒	家庭学習で宿題をしていますか	90.6	91.1	
生徒	家庭学習で、宿題以外に、自分で内容を考えて学習に取り組んでいますか	64.9	65.6	
生徒	学年で目標とする時間や量の家庭学習をしていますか (1年70分、2年80分、3年90分)	68.8	63.9	↓
生徒	・進んで家庭学習に取り組むことができますか(1年) ・自分に必要な学習内容を考えて学習に取り組むことができますか(2年) ・整理と研究などを使い、進路の実現を目指して毎日学習に取り組むことができますか(3年)	77.6	80.2	
保護者	お子様は家で毎日勉強をしていますか	66.3	61.5	↓
保護者	お子様は学年で目標としている時間や量の家庭学習をすることができていると思いますか (1年70分、2年80分、3年90分)	46.6	40.5	↓
保護者	ご家庭で、家庭学習の習慣の定着に向けて声かけや相談などをされていますか	76.9	67.3	↓

③ 授業にのぞむ生徒の様子

生徒の皆さんは、授業ルールの意義を理解し、守ろうと努めています。意識を高めようと、各委員会の取組によって授業態度をよりよくすることができました。

しかし、取組が終わると、意識が薄れる様子も見られました。授業者がルールを守ることはもちろん、授業の中で一人一人の意識を高めていくことに怠らず取り組んでいきます。

		1学期	2学期	
生徒	時計を見て、時間通りに学習用具を準備し、着席していますか	96	96.1	
生徒	元気な声で挨拶・返事をしていますか	94.1	95	
生徒	私語せず、授業に集中していますか	91.6	93.9	

④ 生徒の健康や体力を育む取組について

規則正しい生活についても、生徒と保護者では意識の差がうかがえます。生徒は自分ルールの中で、保護者は大人目線で見ているのではないのでしょうか。

学校では、現在取り組んでいることに引き続き丁寧に取り組み、生活リズムをより良いものにさせていきたいと考えます。歯磨き指導の継続やメディア接触時間のコントロールなどをおして一過性の取組ではなく日々の生活を丁寧に過ごしながら、規則正しい生活を自覚できるようにしていきます。

		1学期	2学期
生徒	規則正しい生活を心がけ、十分な睡眠時間を確保することができますか	85.6	86.7
保護者	お子様は、規則正しい生活をし、十分な生活時間を確保していると思いますか	62.5	62.9
保護者	電子メディア（TVを含む）の時間、利用の仕方などについて、家庭内でルールを決めていますか	69.7	63.9
保護者	お子様は、食後に歯磨きをする習慣が身に付いていると思いますか	84.6	83.9

⑤ 生徒の豊かな心を育む取組について

いじめ見逃しゼロスクール集会に向けての各委員会の特性を生かした取組をはじめとする道徳・生徒会活動などとの連携をはかった学習や、部落問題学習の計画的な実施などにより、人権についての知識が実践に結びついている生徒が増えてきていると考えています。また、生活指導の案件は減ってきています。

体育祭はじめ、いろいろな行事の後では、学年間でメッセージの交換を行いました。書かれたメッセージを読んだり真剣に書いたりする生徒の様子が見られ、立場の異なる他者の目線から物事をとらえる力が高まりました。更に、学級活動を優先する日を増やしたことで、学級での身近な課題について話し合う姿勢が身に付いてきました。課題解決に積極的に取り組む力が身に付くように努めます。

		1学期	2学期
生徒	相手の立場に立って考え、思いやりの気持ちをもって行動できていますか	95	98.1
生徒	仲間とお互いの良さや頑張りを認め合うことができますか	98.5	98.6
生徒	委員会活動や学級の係、清掃等、自分の仕事や役割に自ら進んで、工夫して取り組んでいますか	96	98.6
生徒	委員会活動や学級の係、清掃等、自分の仕事や役割を果たし、集団に貢献する喜びを感じることができますか	92.6	94.3
保護者	お子様は相手を思いやったり、仲間の良さを認めたりする姿勢が身に付いていると思いますか	91.3	92.7
保護者	お子様は、委員会活動や係の活動などに前向きに取り組んでいると思いますか	92.8	95.1
保護者	お子様は、自らの目標達成や成長だけでなく、学級や部活動などの所属する集団に向上しようとしていると思いますか。	84.1	84.9

⑥ 学校生活への思い

今年度はコロナ禍にあって、これまで様々な成功体験が得られてきた活動が自粛されるようになりました。そのため、今年は残念な年、可哀想な年として振り返りがなされそうなところですが、生徒の皆さんの新しい取組・挑戦、保護者の皆さんの今年だからこそ頑張っていたご支援が数多くありました。

コロナに屈することなく素敵な1年を過ごせたことが、アンケート結果から伝わってきます。今後も状況の変化に臨機応変に対応しながら、生徒の1日1日が充実したものになるよう職員一同で努力していきます。

		1学期	2学期
生徒	今の学校生活は充実していますか	97.5	97.6
保護者	お子様は、充実した学校生活を送っていると思いますか	94.7	95.1